

1 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

- ① 二条河原の落書 ② 御成敗式目 ③ 方丈記 ④ 枕草子

2 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？

- ① 室町幕府 ② 鎌倉幕府 ③ 江戸幕府 ④ 明治政府

3 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

- ① 惣 ② 寄合 ③ 土倉 ④ 座

4 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？

- ① 朱印船貿易 ② 遣唐使 ③ 北前船貿易 ④ 勘合貿易

5 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

- ① 国一揆 ② 土一揆 ③ 島原の乱 ④ 一向一揆

6 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

- ① 光厳天皇 ② 足利義満 ③ 後醍醐天皇 ④ 足利尊氏

7 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

- ① 下剋上 ② 一揆 ③ 一門 ④ 落胤

8 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

- ① 能楽 ② 水墨画 ③ 書院造 ④ 枯山水

9 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

- ① 足利義詮 ② 足利直義 ③ 足利尊氏 ④ 足利義満

10 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？

- ① 港町 ② 城下町 ③ 宿場町 ④ 門前町

11 下剋上とは、下の身分の者が上の身分の者を何によって倒し、その地位を奪うことか？

- ① 門地 ② 家格 ③ 実力 ④ 血縁

12 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？

- ① 南蛮貿易 ② 日明貿易 ③ 朱印船貿易 ④ 日宋貿易

13 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇の政権から離反し、京都に武家政権を樹立した人物は誰？

- ① 足利義政 ② 足利尊氏 ③ 足利義教 ④ 足利義満

14 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？

- ① 座 ② 問屋 ③ 見世棚 ④ 定期市

15 鎌倉幕府の滅亡後に後醍醐天皇が始め、約2年半で崩壊した天皇中心の政治を何という？

- ① 保元の乱 ② 平治の乱 ③ 建武の新政 ④ 承久の乱

16 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？

- ① 足利尊氏 ② 足利義満 ③ 足利義政 ④ 足利義教



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>二条河原の落書</u> は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。		1 <u>二条河原の落書</u>	☐
2	<u>鎌倉幕府</u> は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。		2 <u>鎌倉幕府</u>	☐
3	「 <u>土倉</u> （どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。		3 <u>土倉</u>	☐
4	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。		4 <u>勘合貿易</u>	☐
5	「 <u>土一揆</u> （つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。		2 <u>土一揆</u>	☐
6	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が <u>後醍醐天皇</u> に反旗を翻しました。		3 <u>後醍醐天皇</u>	☐
7	「 <u>下剋上</u> 」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。		1 <u>下剋上</u>	☐
8	<u>枯山水</u> は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。		4 <u>枯山水</u>	☐
9	室町幕府の第3代将軍である <u>足利義満</u> は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。		4 <u>足利義満</u>	☐
10	<u>港町</u> は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。		1 <u>港町</u>	☐
11	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「 <u>実力</u> 」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。		3 <u>実力</u>	☐
12	<u>日明貿易</u> は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。		2 <u>日明貿易</u>	☐
13	<u>足利尊氏</u> は有力な武士団を率いて後醍醐天皇に背き、光明天皇を立てて京都に新しい武家政権を樹立しました。		2 <u>足利尊氏</u>	☐
14	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に <u>定期市</u> を開かせました。		4 <u>定期市</u>	☐
15	<u>建武の新政</u> では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。		3 <u>建武の新政</u>	☐
16	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。		1 <u>足利尊氏</u>	☐

言えなかった用語ノート